

第 10 章 恋人の聖地

小林 知晃

10.1 恋人の聖地プロジェクト

10.1.1 恋人の聖地プロジェクトとは

NPO 法人地域活性化センターによって、「少子化対策と地域の活性化への貢献」をテーマとした『観光地域の広域連携』を目的に「恋人の聖地プロジェクト」として展開されている。

2006 年 4 月 1 日より、全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンティックなスポットを「恋人の聖地」として選定し、地域の新たな魅力づくりと情報発信を図るとともに、地域間の連携による地域活性化を図っている。

また、このプロジェクトでは「非婚化・未婚化の進行」を少子化問題の一つとして捉え、日本全国で選定された 100 ヶ所を超える「恋人の聖地」とともに、フランスのモン・サン・ミッシェルをはじめとした海外の著名な観光地にも協力を受けている。そして、各地域による様々な活動を通して若い世代のみではなく、地域社会に向けて「結婚」に対する明るい希望と空気の醸成を図るための活動をしている。

10.1.2 恋人の聖地プロジェクトの展開

「恋人の聖地プロジェクト」では、地域活性化と少子化対策への貢献の両立を図るため、全国の観光地域に呼びかけ、既存の観光スポットを「プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット」恋人の聖地として選定する。「恋人の聖地」の名称のコンセプトを共有することにより、既存の観光スポットのリノベーションを図り、新たな観光スポットとして訴求力を高め、新たな来訪客層の開拓を可能としている。

また「恋人の聖地」の他地域・企業などとのネットワーク展開とブランド化により、各地域単独では困難な情報発信力向上を図り、各地域の集客力を高めるとともに、「恋愛」「恋人」「プロポーズ」「結婚」等々の、非婚化・晩婚化に対する重要なキーワードの社会への大幅な浸透力向上を図っている。

10.1.3 恋人の聖地と恋人の聖地サテライト

恋人の聖地プロジェクトには、「恋人の聖地」と「恋人の聖地サテライト」の二つがある。この二つに選ばれるには、「恋人の聖地」候補地選定申請書という書類を NPO 法人地域活性化支援センターの「恋人の聖地」認定委員会に提出する。「恋人の聖地サテライト」として参画をする場合は「恋人の聖地サテライト」候補地選定申請書を提出する。そして、どちらも選定基準があり、この基準を参考にし、選考委員によって選定される。そこで、それぞれの選定基準を紹介しよう。

(1) 恋人の聖地

- ①地域を代表する観光施設・地域であること。
- ②「恋人の聖地」銘板を付帯設置することが可能なスペースを有すること。
- ③継続的な展開を前提とした本プロジェクトの趣旨に賛同できる。また、そのための運営管理主体が明確であること。

(2) 恋人の聖地サテライト

- ①継続的な展開を前提とした本プロジェクトの趣旨に賛同できる。また、そのための運営管理主体が明確であること。
- ②通常の事業活動との連携が可能であること。
- ③「恋人の聖地サテライト」選定証、プレート掲出できる。

これらの選定基準を基に、選考委員が選定する。しかし、どちらも選考委員が自ら「恋人の聖地」を選ぶのではなく、申請書を基に選んでいる。

10.2 厚田公園展望台

石狩市厚田区にある厚田公園展望台は、2006年7月に北海道で初めての「恋人の聖地」として選出された。展望台からは雄大な海岸線や日本海に沈む夕日が非常に美しく見え、「誓いの鐘」というベルや、恋人たちが固く結ばれることを願って、南京錠を取り付けるためのフェンスも設置されている。

さらには、展望台の中に入ると、中には美しいステンドグラスの窓があり、太陽の光が差し込むと非常に幻想的である。このように、厚田公園展望台は展望台から見える眺めが素晴らしいだけではなく、「誓いの鐘」などを設置しており、恋人の聖地としてふさわしい場所である。

図 10-1 厚田公園展望台



秋野撮影

図 10-2 駅舎前「幸福行き」切符



出所：帯広市 HP

10.3 北海道の恋人の聖地

10.3.1 愛国駅・幸福駅

1929年に開通し、現在は廃線となった、旧国鉄広尾線である。1973年3月、NHKのテレビ番組「新日本紀行」で「幸福への旅」

が放映されたのをきっかけに、愛国駅から幸福駅行きの切符が「愛の国から幸福へ」のキャッチフレーズとともに一大ブームになった。現在、旧愛国駅は交通記念館に、旧幸福駅は鉄道公園として整備され地元の人や観光客に親しまれている。また、毎年4月下旬から9月末の間は、素敵な思い出作りができる「幸福駅ハッピーセレモニー」が開催されている。

10.3.2 朝里岳山頂「ニイサの鐘」

北海道余市郡にある標高 1180m の山頂に建っているのがニイサの鐘である。北海道の大自然を感じられる、積丹半島、ニセコ連峰、石狩湾などの景色が目の前に広がり、雄大で壮大な景色の中で、誓いや願いを込めて鐘を鳴らすことができる。また麓には広大なリゾート施設「キロロリゾート」が広がり、ホテル、レストラン、スポーツなどを堪能できる。

図 10-3 ニイサの鐘



出所：ランキングシェア

10.3.3 ひろおサンタランド

ひろおサンタランドは北海道広尾町にあり、サンタの家、サンタの部屋、サンタの鐘、シンボルツリー、ひろおサンタランドから届く夢のクリスマスカードなど家族でも楽しめる。毎年10月第4土曜日には、サンタランドツリー点灯式が開催され園内や広尾町がイルミネーションに彩られ幻想的な空間に包まれる。

図 10-4 ひろおサンタランド



出所：北海道じゃらん

10.3.4 ゆにガーデン

季節ごとの様々な花が彩りを添える、国内最大級の英国風庭園である。イギリス・ロンドン郊外にある「王立 KEW 植物園」を手本として作られたゆにガーデンは、11 のテーマガーデンとインナーガーデンがあり、センターハウスではハーブを使ったヘルシーな食事や特産物等のショッピングが楽しめる。幸せの鐘を高らかに鳴らして、リナリアの花を植える恋人たちのセレモニーもある。近隣の温泉施設やゴルフコースと合わせて一日中遊ぶことができるスポットである。

図 10-5 ゆにガーデン



出所：恋人の聖地 PROJECT

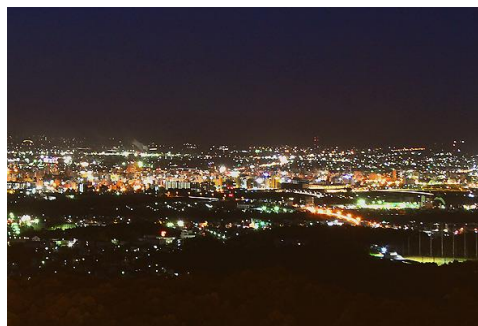
10.4 北海道の恋人の聖地サテライト

10.4.1 旭川サンタプレゼントパーク／ニコラス展望タワー

「世界各国のサンタ」がコンセプトの施設である。冬は、FIS スノーボードワールドカップ開催実績のあるスキー場である。また、「マロースゲレンデ」としてスキー・スノーボード、ソリ滑りなどを良質なパウダースノーで楽しむことができる。ナイター設備もあるため、近隣の仕事帰りの方も遠方からの観光客も、カクテルライトに輝くゲレンデで、ペアリフトに乗ってロマンチックな時間を過ごすことができる。

夏は、標高 330m の山頂にシンボリックに立つ「ニコラス展望タワー」から眼下に広がる旭川の街並み、北海道最高峰・旭岳をはじめとする大雪・十勝岳連峰の山々や雄大な石狩川の流れなど 360 度のパノラマを眺めることができる。

図 10-6 ニコラス展望タワーからの夜景

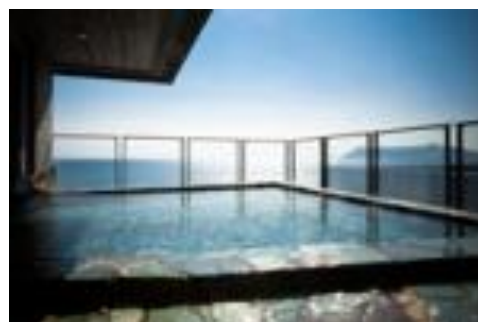


出所：NAVER まとめ

10.4.2 イマジン ホテル&リゾート函館

函館・湯の川温泉地区の海岸側、目の前には津軽海峡を臨む絶好のロケーションである。東に恵山、中央に本州・青森、西に函館山という大パノラマである。このロケーションを最大限に生かした展望風呂、足湯、チャペル、バンケット、ゲストルームがある。足湯は恋人の聖地サテライト認定をきっかけに一般の人でも利用できるようになった。さらに、チャペルは全面ガラス張りになっており、目の前には海が広がり、海外のリゾートウエディングのようである。

図 10-7 展望露天風呂「ウスケシの湯」からの眺め



出所：恋人の聖地 PROJECT

10.4.3 小樽オルゴール堂本館

1912 年に、北海道有数の米穀商の本社屋として建てられたのが「小樽オルゴール堂本館」である。赤レンガ造りと石造りの二棟からなり、特にレンガ造りの店内はひときわ異彩を放つノスタルジックな空間である。総ケヤキ造の内部には高さ 9m の吹き抜けの大ホールがあり、2 階の回廊や天井、階段の手すりの手の込んだ飾りなどは現存するものを生

かして復元されている。店内には、小樽の街にふさわしいガラス製のオリジナルオルゴールをはじめ、15000点ものオルゴールが並ぶ。本館入り口にある蒸気時計は記念写真の背景としても大人気である。周辺にはアンティークオルゴールの音色を楽しめるミュージアムやオルゴールやガラス細工造りを体験できる施設もある。

10.4.4 洞爺サンパレス リゾート&スパ

すぐ目の前に湖の絶景が広がる、大自然に囲まれた洞爺湖温泉のリゾートホテルである。館内に入り、滝のアプローチを抜けると正面の大きなガラスの向こうに洞爺湖が出迎えてくれる。湖と一つになれる絶景露天風呂や全室レイクビューの客室、大人もゆったりできる南国アイランド、厳選された食材を使うレストランなど、リゾートという言葉が当てはまる空間である。冬から春にかけて開催する10万球のイルミネーションイベントでは、ラバーズタワーを設置している。恋人たちが鐘を鳴らすと永遠の愛となると言われている。バレンタインデー、ホワイトデー、クリスマスにはカップル向けの企画も用意されている。

10.4.5 北海道アイスパビリオン

氷の国体験型美術館であるアイスパビリオンは、寒さ体験を年中楽しめる施設としては世界初で最大級のスケールである。注目のアイスホールは一年中 -20°C に保たれている。自然の法則にのっとして、25年もの歳月をかけて制作された氷柱群は、氷壁 600 m^2 、氷量 1000 t のスケールを誇る。360度、見渡す限りの氷の世界は幻想的である。 -41°C の「極寒体験コーナー」や「ダイヤモンドダスト」など様々な体験型パビリオンとしても魅力がある。

図 10-8 小樽オルゴール堂本館



出所：恋人の聖地 PROJECT

図 10-9 館内からの眺め



出所：恋人の聖地 PROJECT

図 10-10 極寒体験コーナー



出所：北海道アイスパビリオン HP

10.4.6 藻岩山展望台

札幌市街地に隣接している「藻岩山」は、麓の藻岩山麓駅から、山頂の藻岩山山頂駅まで気軽にロープウェイで登れ、昼間は石狩湾まで続く壮大な景色、夜は札幌市街の明かりがまるで星空のように輝くロマンチックな光景が見渡せる。建物内はバリアフリー対応していて、車いすでも 360 度の大パノラマが楽しめる。また、山頂のレストランは全面ガラス張りのため、空に浮かんでいるような気分を味わうことができる。

図 10-11 藻岩山展望台からの夜景

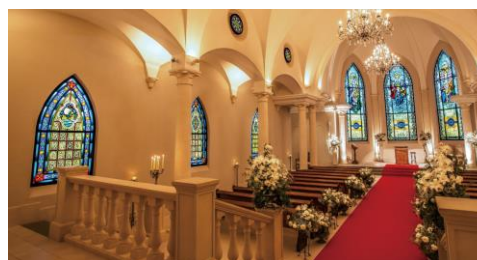


出所：札幌もいわ山ロープウェイ

10.4.7 ローズガーデンクライスト教会

札幌の中心地から車で 15 分の場所にある。札幌のシンボルともいえる藻岩山のすそ野、街を一望できる伏見の丘に誕生したのがローズガーデンクライスト教会である。正式なプロテスタント教会なので牧師も在駐している。イタリアを代表する女性建築家と、北海道をこよなく愛する日本の建築家により生まれたロマネスク様式で、回廊を巡る石柱や石畳などの建築資材や、館内を飾る美術品の数々は、ほとんどが北イタリアのロンバルディア地方から運ばれたものである。「荘厳」という言葉が当てはまる本物の教会である。

図 10-12 教会内の様子



出所：ローズガーデンクライスト教会

参照 HP

- ・ 石狩市 HP

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/sightseeing-guide/1699.html>

- ・ 帯広市 HP

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shoukougankoubu/kankouka/c020201aikokukoufuku.html>

- ・ 結婚式場ナビ 札幌コンシェル

<http://www.kekkonsikijo.jp/news/2016/05/12/6381/>

- ・ 恋人の聖地 PROJECT

<http://www.seichi.net/>

- ・ 札幌藻岩山ロープウェイ

<http://moiwa.sapporo-dc.co.jp/nightview/>

- ・ NAVER まとめ

<https://matome.naver.jp/odai/2141826476075717001/2141906709632969003>

- ・ 北海道アイスパビリオン HP

<http://icepavilion.com/shisetu.html>

- ・ 北海道じゃらん

<http://www.recruit-hokkaido-jalan.jp/guide/k00764>

- ・ ランキングシェア

<https://www.rankingshare.jp/rank/bgczxsvzrp/detail/5>

- ・ ローズガーデンクライスト教会

<https://www.rosegarden-ch.jp/>